

ペルー産ブドウ 香港向けが最も価格が高い

[Agraria.pe](#) 2024年4月26日

(Agraria.pe) 2023-24年度の出荷シーズン中のペルー産食用ブドウの価格は、輸出先国と出荷された品種によって異なった。農業技術関連企業であるセンソノミック社の最高科学責任者であるアダム・フォルミカ氏によると、6つの主要な新しい品種のうち、オータムクリスプ®、ティンブソン、スイートグローブが最も価格が高かった。4大市場では、香港が最も価格が高く、米国、メキシコ、オランダがそれに続いた。

同氏は、「香港市場では、オータムクリスプ®とスイートセレブレーションが、スイートグローブやアイボリーと比べて、1キロ当たりそれぞれほぼ0.50ドル及び0.30ドル高かった。他の市場の価格は、すべての品種でほぼ同じであった。ただし、メキシコ市場のアリソンとアイボリーは例外で、価格が低かった」と述べた。

このアナリストは、香港は輸送時間が長い(リマから36日)ために多くの料金を支払っている可能性が高いと指摘した。しかし、米国はオランダよりも輸送時間が短い(米国のフィラデルフィア港まで18日、オランダのロッテルダム港まで25日)にもかかわらず、価格が高い。

同氏は、「米国東海岸もヨーロッパも、最近のパナマ運河の渋滞の影響を受けていたはずだ。違いは、より多くの季節のブドウを有する南アフリカとインドへのアクセスの点で、オランダの方が近いことかもしれない」と結論付けた。

中国が台湾産柑橘類等の禁輸措置解除に言及

[FOCUS TAIWAN](#) 2024年4月28日

台北、4月28日(CNA) 中国税関総署の趙善運ツァンシェンリン副部長は、科学的評価に基づき、中国は台湾からのいくつかの農水産物の輸入禁止を解除すると述べた。具体的には、中国は検疫要件を満たす台湾産の柑橘類と2種類の魚の輸入を再開すると趙氏は述べたが、解禁の日付や詳細は明らかにしていない。

趙氏はこの決定を、兩岸関係の改善を目的とした国民党(KMT)代表団の3日間の訪中の中で、税関を訪問した同党の傅崐萁フンケンチー立法委員と他の16人の国民党議員をもてなした際に発表した。

同副部長は、中国政府は、1992年の合意を支持し台湾独立に反対するという共通の政治的基盤に基づき、台湾の農水産物の輸入再開について、国民党及び関係当局とさらに意思疎通を図る用意があると述べた。

中国による台湾からの輸入禁止措置は、ナンシー・ペロシ米下院議長が短期間の訪問のために台北に立ち寄ったわずか数時間後の2022年8月3日に発動された。

輸入禁止リストには柑橘類も含まれており、中国はコナカイガラムシが付着し、過剰な残留農薬で汚染されているとしていた。他の禁止品は冷蔵のタチウオと冷凍のアジであり、中国は当時、魚のパッケージからCOVID-19ウイルスが繰り返し検出されたことを理由に挙げている。

台湾の陳駿季チェンジュンジ農業部長(農業大臣)代行は中央通訊社(CNA)に対し日曜日(28日)に、同省は中国から解禁決定の公式通知をまだ受け取っていないと述べた。陳部長は、この問題に関するいかなる連絡も、これまで行われてきたように、兩岸の検疫関係の場を通じて行われるべきだと述べた。

政府の統計によると、台湾の2021年のザボンの輸出量は合計7,062トンで、そのうち4,821トンが中国に出荷された。しかし、中国が台湾産の柑橘類の輸入を禁止した後、データによると台湾のザボンの総輸出量は2022年に2,909トンに減少し、そのうち香港が2,623トンを輸入した。台湾の昨年のザボン輸出量は約2,709トンで、ここでも香港が1,823トンで最大の輸出先であった。

執筆者: チャン・シュンフエン、ルー・チャジャン、リー・シンイン